intra-mart WebPlatform/AppFramework
Ver.7.0

ポータル ユーザ操作ガイド

2012/03/26 第3版

❖ 変更履歴

変更年月日	変更内容
2008/07/07	初版
2009/02/27	第2版 キャッシュ設定に関する注意事項を追加（1.3 ポータルの操作） ポータル画面に全て最小化機能を追加 （1.3 ポータルの操作）
2012/03/26	第3版 画面キャプチャを修正 （1.2.1 グローバルポータル）

Contents

第1章　ポータルの利用	1
ポータルについて	2
ポータルの種類	4
1.2.1 グローバルポータル	4
1.2.2 intra-martホーム画面に表示されるポータル	5
ポータルの操作	6
1.3.1 画面上の操作	8
1.3.2 ポータルの編集	12
アクセス権の設定	19
1.4.1 アクセス権の追加	19
1.4.2 アクセス権の削除	21
ポートレットについて	22
1.5.1 ポートレットのエラーについて	23
1.5.2 Googleガジェットポートレット	23
1.5.3 簡易SSO（リンク集）	26

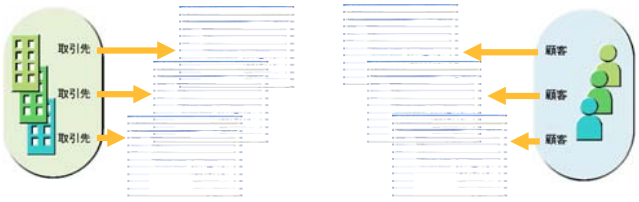
intra-mart WebPlatform/AppFramework

第1章 ポータルの利用

1.1 ポータルについて

intra-martには、ログイン初期画面（intra-martホーム画面）にあらかじめ用意したページ（ポータルアプリケーションでは、ポートレットと呼びます）をいくつかサブウィンドウとして表示し、ユーザに情報を見るように喚起させることができる機能が標準で用意されています（ポートレットを表示する画面をポータル画面と呼びます）。このポータル機能は、intra-martのポータルモジュールで実現されています。

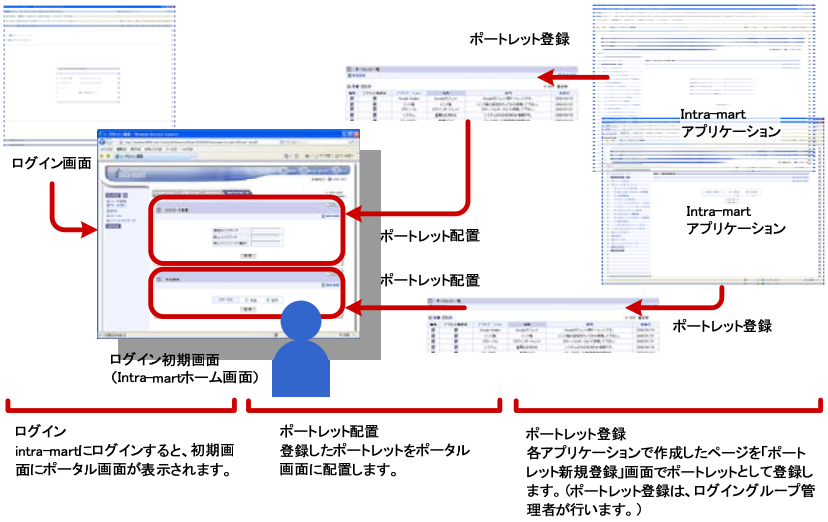
組織部署単位にポータルサイトを設定したり、個人単位の設定をすることで、組織内での情報伝達のスピードアップが図れます。



会社（顧客、取引先）単位にポータルサイトを設定することにより、
ECサイトやマーケットプレイスにおいて、サービスレベルを大きく向上させることができます。

〈会社・組織、ユーザごとのポータル〉

intra-mart上のアプリケーションごとに表示させたい情報のページを作成し、ポートレット管理機能を利用して登録することによって、ポートレットとして利用することができるようになります。
このようにして作成したポートレットは、ポータル画面上に自由にレイアウトして利用することができます。また、intra-mart上のアプリケーションだけでなく、Javaの標準であるJavaポートレット（*）もポートレットとして登録し利用することが可能です。



- Javaポートレットは、標準化団体 Java Community Process(JCP) において策定された、「Java Specification Request #168(JSR168)」に従って作成されたポートレットを指します。
  このポートレットはWebアプリケーションの一種として作成され、WARファイルの形で提供されます。

Column

全ポートレットの最小化機能

ホーム画面に表示されるポータルの右上のコマンドボタンに「全て最小化」ボタンが追加されました。
機能の詳細については、「1.3ポータルの操作」を参照してください。
また、これに伴ってタブの領域を広くするために「最新表示」コマンドのリンクがアイコンのみの表示に変更されました。
本ドキュメント内で利用されているポータル画面の画像では、機能の追加以前の画像が表示されている場合がありますが、お使いのintra-martの最新の画面を参照するようにしてください。

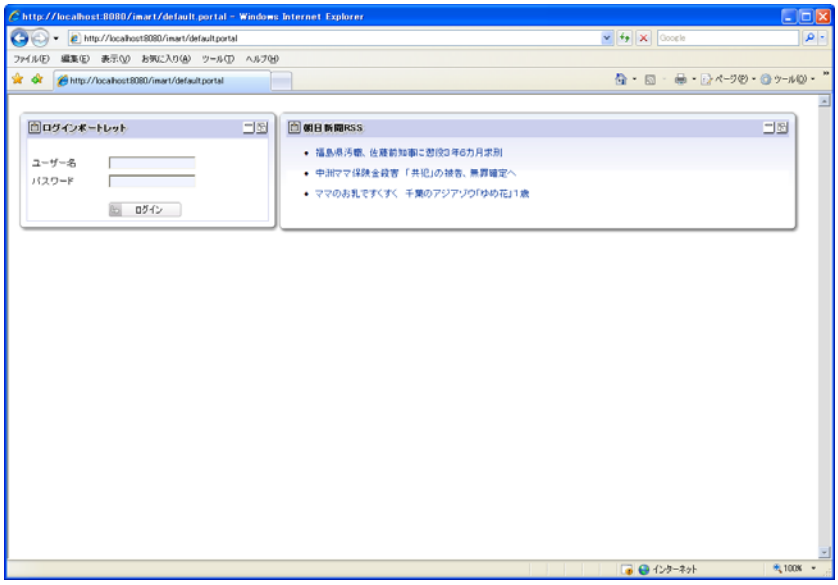
1.2 ポータルの種類

ntra-martに用意されているポータル画面には、次の表のような３種類が用意されています。
これらのポータルの主な違いは、表示させるユーザの範囲の違いで、ログイングループ全員に見せるものから、自分だけのポータルまで用意されています。さらに、アクセス権限を設定することで、特定のユーザの画面にだけ表示させることも可能です。また、グローバルポータル以外のポータルは、複数作成することができます。

ポータルの種類	表示される場所	作成者	基本表示範囲	アクセス権の設定
グローバルポータル	ログイン前の画面	ログイングループ管理者	ログイングループ全員	なし
グループポータル	Intra-martのHOME画面（タブとして）	ログイングループ管理者	ログイングループ全員	会社･組織 パブリックグループ ロール
ユーザポータル	Intra-martのHOME画面（タブとして）	一般ユーザ 組織のポータル管理者	作成者自身	作成者が主所属の組織 配下の組織

1.2.1 グローバルポータル

グローバルポータルは、アクセス権限の設定もなく、ログイングループ全員に表示されるポータルです。このポータルはログイン画面に表示されるため、ログインするためのポートレットが用意されています。なお、グローバルポータルにはタブがありません。



<グローバルポータル>

1.2.2 intra-martホーム画面に表示されるポータル

グループポータル、ユーザポータルは、intra-martホーム画面に表示されます。各ポータルは、タブとして表示され、初期表示は、ログイングループ管理者が設定した順番で配置されて、一番左に配置されたタブが選択された状態で表示されます。

また、intra-martのどの画面にも、常に[HOME]ボタンが表示されていて、クリックするだけでホーム画面が表示されます。

<ホーム画面>

- このドキュメント内の図に表示されている「朝日新聞RSS」ポートレットは、RSSポートレットのサンプルです。表示されている内容は正確な情報ではありませんので、ご注意ください。

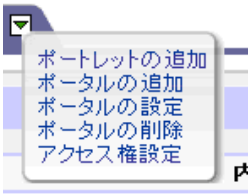
1.3 ポータルの操作

ポータル機能では、ポータル画面上で簡単にポータルのレイアウトの変更や、ポートレットの操作を行うことが出来ます。また、変更は即座に反映されます。
以下にポータル画面を操作する上で必要な、画面上の各部の名称を説明します。

<グループポータル、ユーザポータル画面>

タブ

ポータルの選択や、順序の入れ替えを行います。また、矢印アイコンをクリックして表示されるコンテキストメニューの項目を選択して、ポータルの編集などの各操作を行います。



<コンテキストメニュー>

最新情報

ポータル画面を再表示します。

その際、キャッシュを利用しているポートレットも、キャッシュ情報をクリアして最新の状態が表示されます。

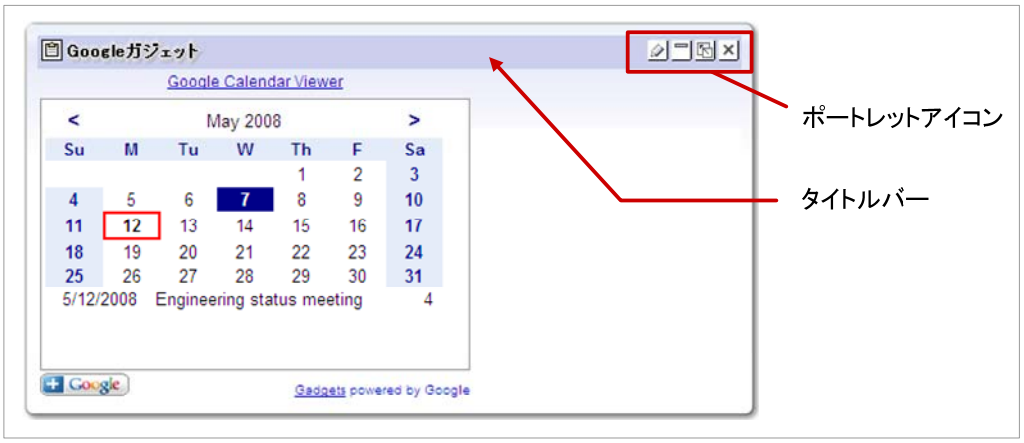
全て最小化

全て最小化解除

全てのポートレットを一時的に最小化および最小化の解除をします。
公開されたポートレットによっては、一時的に応答がない場合もあります。その場合、全てのポートレットを最小化し、該当のポートレットを削除するようにして下さい。
このコマンドによる最小化情報はセッションに保存されませんので、ログインしなおしてから画面を再表示した場合、最小化情報は解除されます。

- キャッシュ機能を利用したポートレットで、カラーパターンを指定している場合、カラーパターンの変更が反映されない場合があります。
  ポータル画面で、カラーパターンの変更が反映されなかった場合、「最新情報」ボタンをクリックして、キャッシュをクリアして再表示するようにして下さい。

- 公開されたポートレットによっては、一時的に応答がない状態となる場合があり、Internet Explorerではその場合、ポータル画面自体が利用できなくなってしまいます。(ポートレットが1つも表示されない場合、この可能性があります。)
  その場合は、全て最小化を行うことで正常に表示されますので、該当のポートレットを削除するようにして下さい。
- グループ管理者が登録したポートレット(グループポータル、グローバルポータル)の削除はグループ管理者しか行えませんので、一般ユーザにポータルが公開されている場合はグループ管理者が作業を行うようにしてください。



<ポートレット>

タイトルバー	ポートレットのタイトルが表示される(*)場所で、ポートレットの移動時など、ここをドラッグして操作します。
ポートレットアイコン	ポートレットのモードや、状態を切り替えます。なお、表示されるアイコンは、ポートレットの状態や権限によって変わります。 **【モードアイコン】** ポートレットがサポートしているモードのみが表示され、現在のポートレットのモードに該当するアイコンは非表示になります。 **表示モード** ポートレットを表示モードに変更します。ポートレットの初期状態です。 **編集モード** ポートレットを編集モードに変更します。ポートレットの簡単な設定を行います。 **ヘルプモード** ポートレットの説明モードに変更します。 **【状態アイコン】** **最小化** ポートレットが最小化され、タイトルバーだけ表示されます。 ※1.3.1.3ポートレットの最大化、最小化　参照 **最小化解除** 最小化から戻ります。

最大化

ポートレットが最大化され、他のポートレットは非表示になります。

※1.3.1.3ポートレットの最大化、最小化 参照

最大化解除

最大化から戻ります。

削除

ポートレットを削除します。削除アイコンはユーザ自身が登録したポートレットのみ表示されます。

※1.3.2.5ポートレットの削除 参照

- ポートレットの設定により、タイトルが非表示になる場合があります。

1.3.1 画面上の操作

ポータルの画面上で、タブの順序の入れ替えやポートレットの配置の変更、またポートレットの移動やコピーなどを行うことが出来ます。

1.3.1.1 ポータルの切替え

表示したいポータルのタブをクリックすることにより、そのポータルが選択されます。

<ポータルの切替え>

1.3.1.2 ポータル(タブ)の順序の入れ替え

ポータルのタブをドラッグ＆ドロップすることにより、ユーザの使い勝手にあわせてポータルの順序を入れ替えることが出来ます。

<ポータル順序の入れ替え>

1.3.1.3 ポートレットの最大化、最小化

ポートレットの最小化アイコンをクリックすると、そのポートレットはタイトルバーのみの表示となります。最小化はその状態が保存されます（*）ので、再表示をおこなっても最小化のまま表示されます。
なお、最小化したポートレットは、最小化解除アイコンのクリックで最小化前の状態にもどります。

<ポートレットの最小化>

また、ポートレットの最大化アイコンをクリックすることにより、他のポートレットは表示されなくなり、そのポートレットが最大表示になります。最大化前の状態に戻るには、最大化解除アイコンをクリックします。なお、最大化は保存されませんので、ポートレットの最大化を実施後、再表示を行うと初期サイズに戻ります。

<ポートレットの最大化>

- グローバルポータルについては最小化の情報も保存されません。再表示を行うと初期サイズに戻ります。

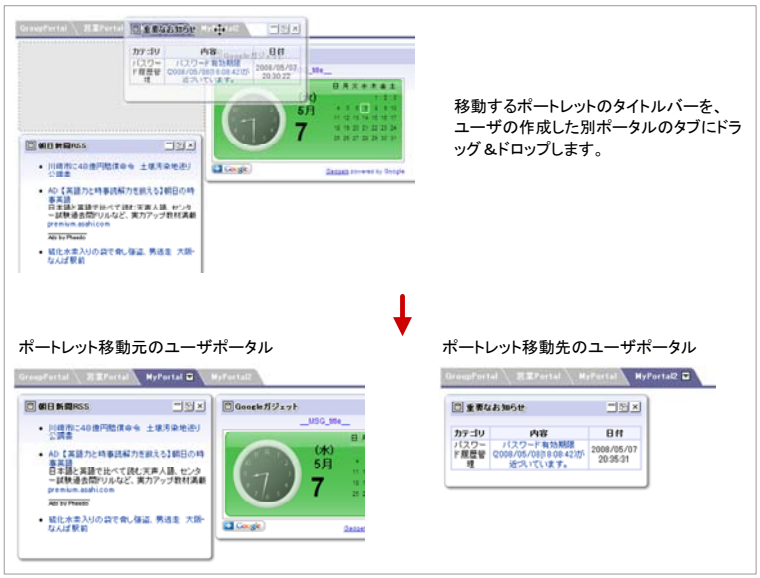
1.3.1.4 ポートレットの移動

■ユーザポータル

ポートレットのタイトルバーをドラッグ＆ドロップすることによって、ページ内で表示位置を変更することが出来ます。変更した表示位置は保存されますので、再表示をおこなっても変更した表示位置で表示されます。

<ポートレットの表示位置変更>

また、ポートレットを、ユーザの作成した別のポータルのタブにドラッグ＆ドロップすることにより、ポータルを越えて別のポータルにポートレットの移動を行うことが出来ます。



<ポートレットの移動>

■グループポータル／組織のポータル管理者が作成したユーザポータル

グループポータルや、組織のポータル管理者が作成したユーザポータル内での、ポートレット表示位置の変更はできません。

ここでは、下記の図のとおり、グループポータルや、組織のポータル管理者が作成したユーザポータルに、配置されているポートレットを、ユーザのポータルのタブにドラッグ＆ドロップして、ポートレットのコピーをすることが出来ます。

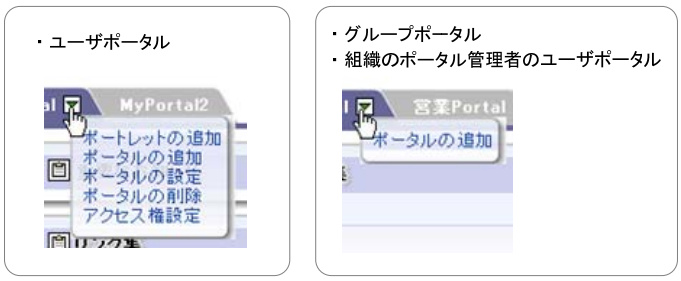
<ポートレットのコピー>

■グローバルポータル

ポートレットのタイトルバーをドラッグ＆ドロップすることによって、ページ内で表示位置を変更することが出来ます。変更した表示位置は保存できませんので、再表示をすると変更前の位置に戻ります

1.3.2 ポータルの編集

ポータルのタブにある矢印をクリックして表示される、コンテキストメニューの項目を選択して、操作を行います。コンテキストメニューの項目は、現在表示されているポータルのステータスに応じた項目が表示されます。



<コンテキストメニュー>

コンテキストメニュー表示項目	内 容
ポートレットの追加	選択されているポータルにポートレットを追加します。 グループポータル、組織のポータル管理者のユーザポータルのコンテキストメニューには表示されません。 ※1.3.2.4ポートレットの登録 参照

ポータルの追加	ユーザポータルを追加します。 ※1.3.2.1ポータルの作成 参照
ポータルの設定	選択されているポータルの編集を行います。 グループポータル、組織のポータル管理者のユーザポータルのコンテキストメニューには表示されません。 ※1.3.2.2ポータルの設定変更 参照
ポータルの削除	選択されているポータルの削除を行います。 グループポータル、組織のポータル管理者のユーザポータルのコンテキストメニューには表示されません。 ※1.3.2.3ポータルの削除 参照
アクセス権設定	選択されているポータルのアクセス権の設定を行います。 グループポータル、組織のポータル管理者のユーザポータルのコンテキストメニューには表示されません。 ※1.4アクセス権の設定 参照

1.3.2.1 ポータルの作成

コンテキストメニューの「ポータルの追加」を選択して、新しいポータルを作成します。ユーザポータルは目的に応じて複数作成することが出来ます。

1 コンテキストメニューからポータルの追加をクリックします。ポータルの名称や、公開フラグ、配置位置、ポートレットのレイアウトを選択する画面が表示されます。

<ポータルの作成>

名称(必須)	ポータルの名称を設定します。ここで設定した内容が、タブの名称になります。
公開フラグ	組織のポータル管理者が設定する項目です。「公開」を選択すると、所属している組織内のユーザにポータルが公開されます。
配置	「公開フラグ」の項目で「公開」を選択した場合の、ポータルのタブの位置を設定します。同じ組織内のユーザが、intra-martホーム画面において公開されたポータルを表示する際に、設定した内容が反映されます。 ただし、表示された後にユーザが順序を入れ替えることは可能です。

	ユーザポータルの左に配置する。 同じ組織内のユーザが作成したポータルよりも左側に表示されます。 **ユーザポータルの右に配置する。** 同じ組織内のユーザが作成したポータルよりも右側に表示されます。
レイアウト	ポータル画面で配置するポートレットのレイアウトを設定します。

2 値を設定して、[登録]をクリックします。ホーム画面に遷移し、選択したポータルの右隣に、設定した名称でタブが追加されます。

<新規ポータル画面>

- 追加される位置は、配置項目で設定した値に基づいて自動的に調整されます。

1.3.2.2 ポータルの設定変更

作成したポータルは、コンテキストメニューの「ポータルの設定」をクリックして表示されるポータル編集画面で、設定の変更を行うことができます。

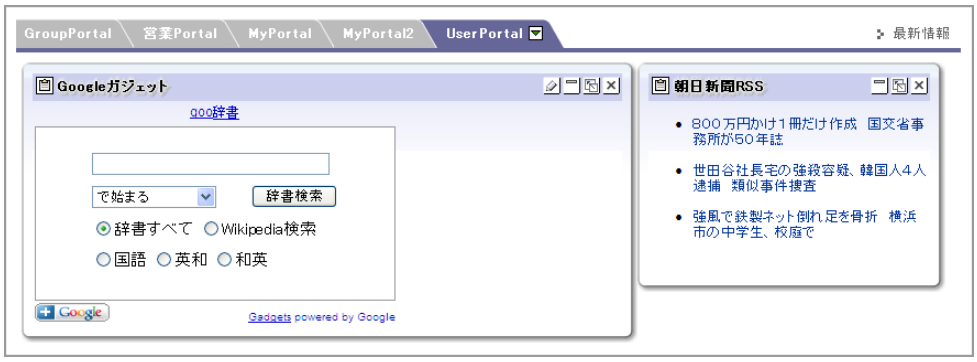
1 コンテキストメニューからポータルの設定をクリックすると、ポータル編集画面が表示されます。

<ポータル編集画面>

2 該当する項目の内容を変更します。

<ポータルの設定変更>

3 [更新]をクリックします。ホーム画面に遷移し、変更した内容が反映されます。



<ユーザポータル設定変更後の画面>

1.3.2.3 ポータルの削除

コンテキストメニューの「ポータルの削除」をクリックするとポータルの削除ができます。これを行うことによりそのポータルに表示されていたポートレットもあわせて削除されます。

1 コンテキストメニューからポータルの削除をクリックします。

<ポータルの削除>

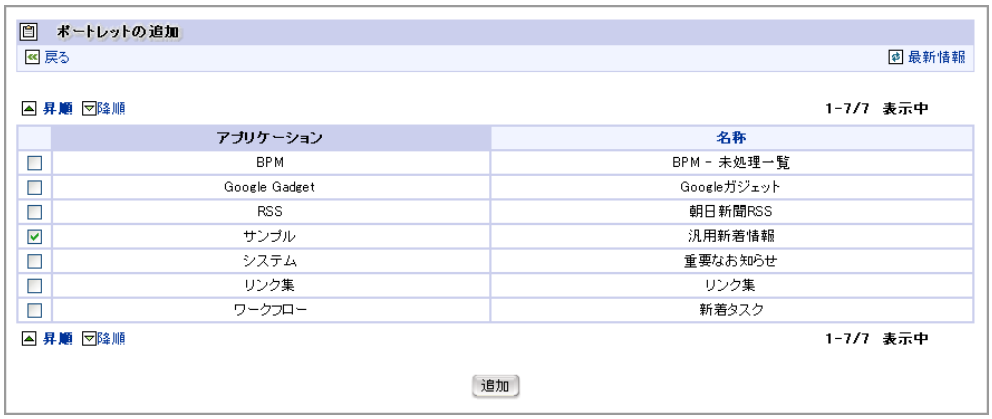
2 確認用のウィンドウが表示されますので、[OK]をクリックします。選択していたポータルが削除され、削除後は一番左のポータルが選択されます。

<ポータルの削除後の画面>

1.3.2.4 ポートレットの登録

コンテキストメニューの「ポートレットの追加」をクリックして、ポータル画面にポートレットの追加を行います。

1 コンテキストメニューからポータルの追加をクリックし、ポートレットの追加画面で追加するポートレットを選択します。ポートレットは複数選択して登録することができます。



<ポートレットの追加画面>

2 [追加]をクリックすると、ホーム画面に遷移してポートレットが追加されます。

<ポートレットの登録後の画面>

1.3.2.5 ポートレットの削除

ポートレットの削除アイコンをクリックするとポートレットの削除ができます。

1 削除を行うポートレットの削除アイコンをクリックします。

<ユーザポータル画面>

2 ポートレットが削除されます。

<ポートレット削除後の画面>

- ポートレットを削除する際に、確認メッセージは表示されません。また元に戻すこともできませんが、ポートレットの追加を行うことによって、簡単に再登録を行うことができます。

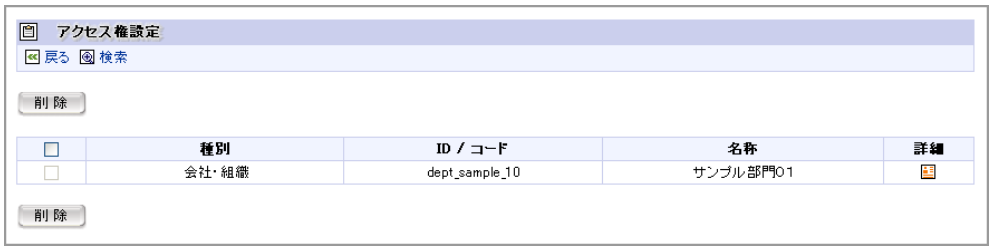
1.4 アクセス権の設定

公開フラグが設定されているユーザポータルは、作成者が所属する（主所属）組織のユーザに公開されますが、ユーザポータル作成後に、配下の組織に対してアクセス権限を設定することにより表示範囲を任意に制限することができます。

1.4.1 アクセス権の追加

アクセス権設定画面より、アクセス権の追加を行います。ここで設定した内容により、公開されたユーザポータルの表示範囲が制限されます。

1 コンテキストメニューからアクセス権設定をクリックすると、アクセス権設定画面が表示されます。ここでは、すでに作成者の所属する組織へのアクセス権が表示されます。

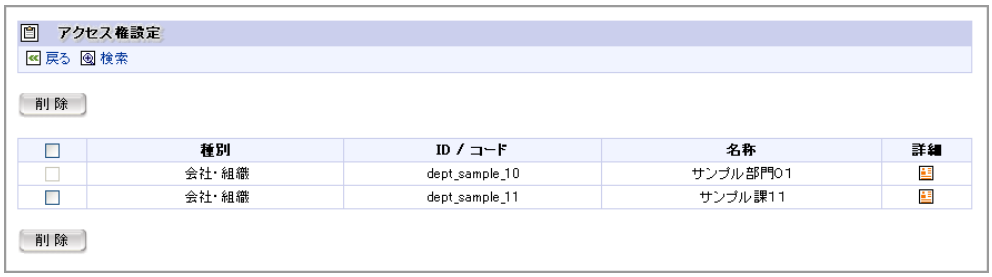


<アクセス権の追加>

2 [検索]をクリックして、絞り込み検索を行い、アクセス権を設定する組織の一覧を表示させます。ここで、ポータルを公開したい組織を選択します。

<会社・組織検索結果画面>

3 [決定]をクリックすると、アクセス権設定画面に戻り、設定した情報が表示されます。

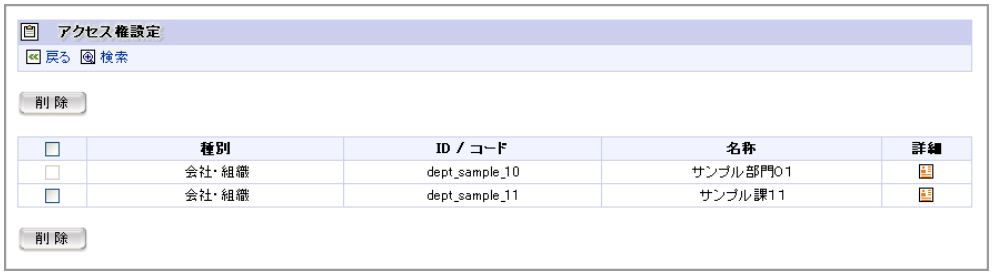


<アクセス権の設定>

4 [詳細]アイコンをクリックして表示される設定画面にて、さらに詳細な設定を行います。

<詳細設定画面>

5 [決定]をクリックしてアクセス権設定画面に戻り、設定した情報が保存されます。

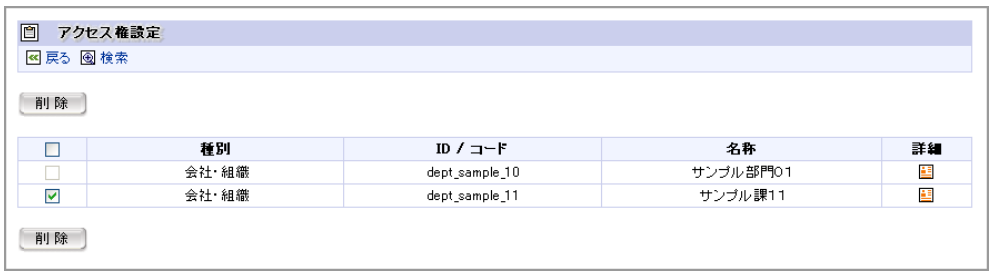


<アクセス権設定画面>

1.4.2 アクセス権の削除

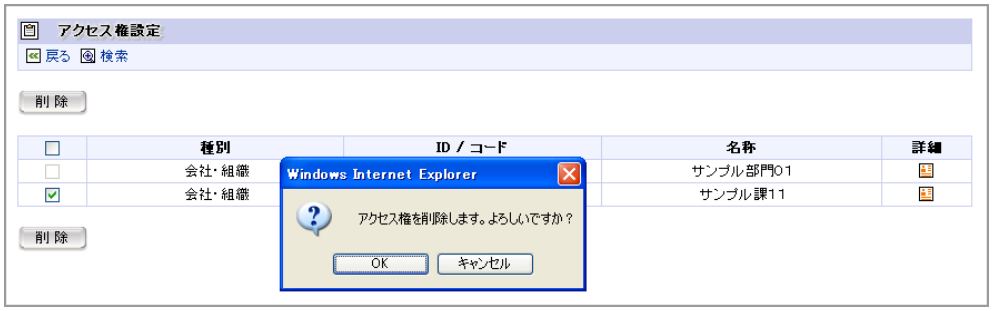
アクセス権設定画面より、アクセス権の削除を行います。

1 コンテキストメニューの、アクセス権設定をクリックして表示されるアクセス権設定画面の一覧から、削除する組織を選択します。



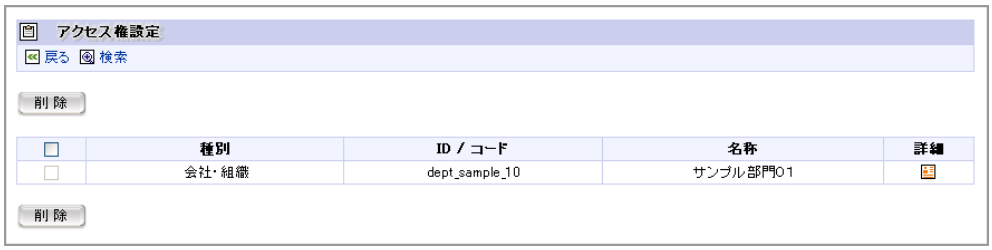
<アクセス権設定画面>

2 [削除]ボタンをクリックすると、確認用のウィンドウが表示されますので、[OK]をクリックします。



<アクセス権の削除>

3 選択した組織が削除されます。



<アクセス権削除後の画面>

1.5 ポートレットについて

intra-martには、標準でそのまま利用可能なポートレットがいくつか用意されています。
また、ワークフローモジュールやWebMailなどのintra-martアプリケーションの一部には、ポートレットがあらかじめ用意されているものがあります。
この章では、標準で提供されるポートレットのうち、ユーザによって設定が必要なポートレットの設定方法について説明します。

■スタンダード版で提供されるポートレット

ポートレット名称	アプリケーション	推奨レイアウト	表示先(*)	備考
リンク集				簡易SSO設定が行えます。
ログインポートレット			グローバルポータル	
朝日新聞RSS				
重要なお知らせ			ユーザポータル グループポータル	パスワード管理の情報を表示します。
Googleガジェット				

■アドバンスト版で追加されるポートレット

ポートレット名称	アプリケーション	推奨レイアウト	表示先(*)	備考
新着タスク	ワークフロー	2列以下(幅広の領域)	ユーザポータル、グループポータル	

■エンタープライズ for BPM版で追加されるポートレット

ポートレット名称	アプリケーション	推奨レイアウト	表示先(*)	備考
BPM - 未処理一覧	BPM	2列以下(幅広の領域)	ユーザポータル、グループポータル	

■intra-martアプリケーションに付属のポートレット

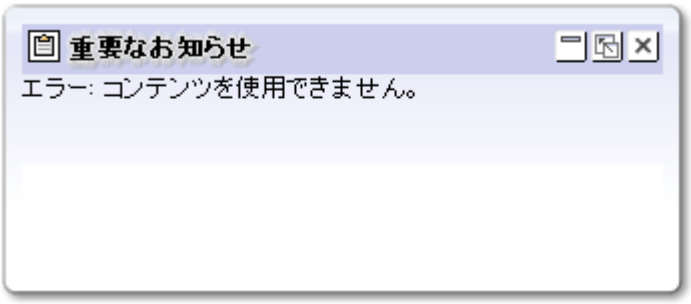
ポートレット名称	アプリケーション	推奨レイアウト	表示先(*)	備考
今週の予定	スタートパック	2列以下(幅広の領域)		
今日の予定	スタートパック			
新着ToDo一覧	スタートパック			
新着お気に入り情報	スタートパック			
新着配信情報	スタートパック	2列以下(幅広の領域)		
新着コミュニティ情報	スタートパック			

最新見積一覧	営業支援			
最新受注一覧	営業支援			
新着営業日報一覧	営業支援／スタートパック			
新着上司コメント	営業支援／スタートパック			
新着メール	WebMail			

- 表示先のポータルが決められているポートレットの場合の、表示先のポータル種別（ユーザポータル、グループポータル、グローバルポータル）を表します。

1.5.1 ポートレットのエラーについて

ポートレットはポータルと協調して動作しますが、独立したアプリケーションです。 ポートレットの仕様や設定によって、ポータル画面とは別にエラーが発生することがあります。
ポートレットでエラーが発生した場合、ポートレットウィンドウに以下のようなメッセージが表示されます。このような場合は、グループ管理者に問い合わせるようにして下さい。



<ポートレットエラー画面>

- ご利用の環境によっては、メッセージが英語で表示される場合があります。

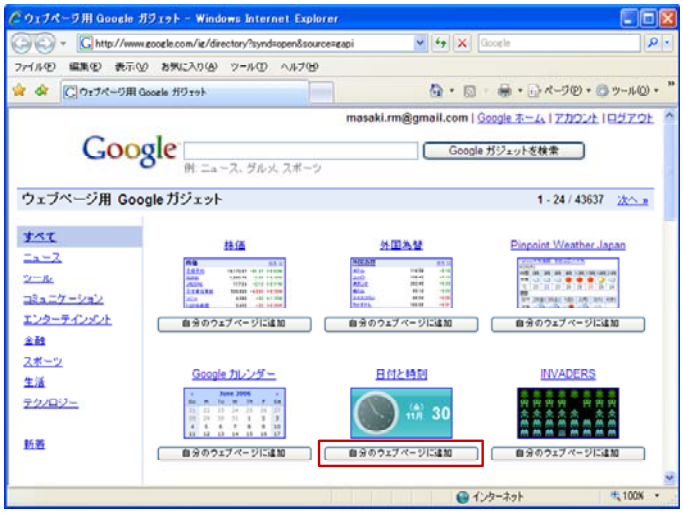
1.5.2 Googleガジェットポートレット

Googleガジェットポートレットは、Googleが提供するガジェットを表示させることができます。ポートレットの編集アイコンをクリックして表示される、コード設定画面にてGoogleガジェットコードの設定を行います。

1 Googleガジェットポートレットの編集アイコンをクリックすると、ポートレットの編集画面が表示されます。

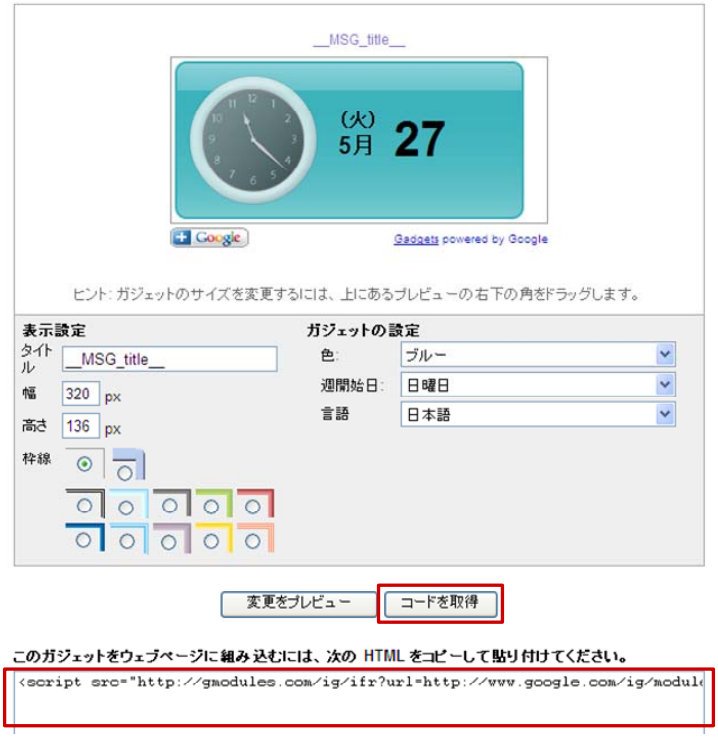
<Googleガジェット編集画面>

2 「Googleガジェット一覧」リンクをクリックすると、「ウェブページ用Googleガジェット」画面が表示されます。ここから設定したいガジェットの[自分のウェブページに追加]ボタンをクリックします。



<ウェブページ用Googleガジェット画面>

3 選択したガジェットの詳細設定画面で、カスタマイズ等を行い、[コード取得]ボタンをクリックして、コードを生成させます。



<詳細設定画面>

4 生成されたコードをクリップボードにコピーして、ポートレットの編集画面のGoogleガジェットコードにペーストし、[設定]ボタンをクリックします。

<Googleガジェット編集画面>

5 ポートレットの表示モードに切り替わり、設定したガジェットが表示されます。

<Googleガジェット表示画面>

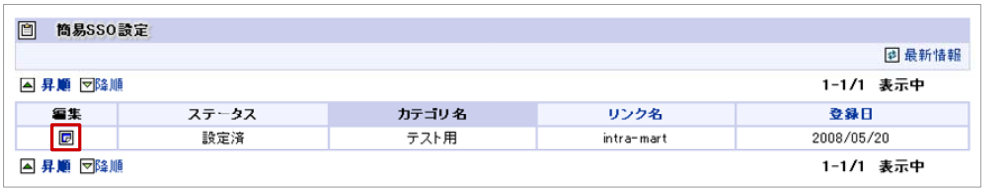
1.5.3 簡易SSO(リンク集)

簡易SSO設定を行うと、リンク先サイトのログインページでアカウント、パスワードなどを入力しなくてもログインが可能になります。

1 リンク集ポートレットの「簡易SSO設定」をクリックすると簡易SSO設定画面が表示されます。

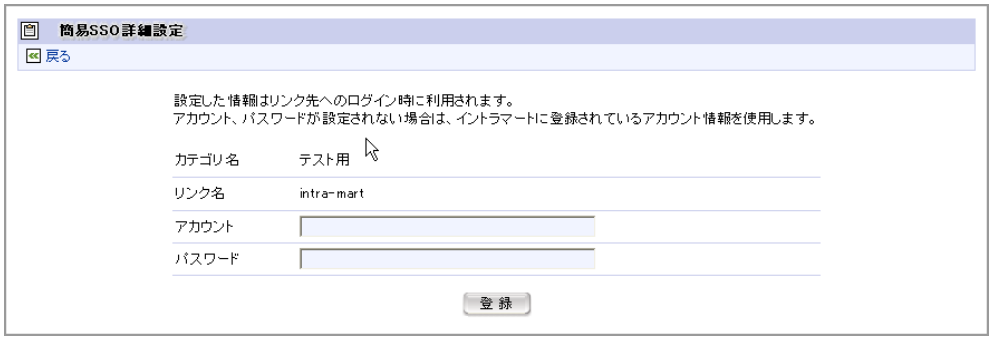
<ユーザポータル画面>

2 ここで、「編集」アイコンをクリックすると[簡易SSO詳細設定]画面が表示されます。



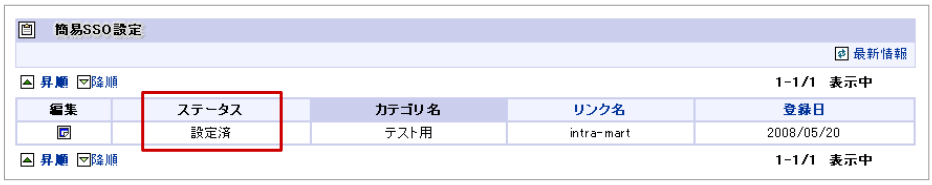
<簡易SSO設定画面>

3 ここでは、アカウントやパスワードなどリンク先のサイトにログインするための情報を入力します。入力後は[登録]ボタンをクリックします。



<簡易SSO詳細設定画面>

4 情報を入力後、[登録]ボタンをクリックすると、簡易SSO設定画面に戻り、ステータスが設定済となり、SSO設定が登録されたことになります。



<簡易SSO設定画面>

intra-mart WebPlatform/AppFramework Ver.7.0

2012/03/26 第３版

ポータル ユーザ操作ガイド

株式会社 NTT データ イントラマート
〒107-0052 東京都港区赤坂 2-17-22 赤坂ツインタワー本館 3 階
TEL(03)5549-2821 FAX(03)5549-2816
E-mail : info@intra-mart.jp
ホームページ : http://www.intra-mart.jp
Copyright 2000-2012 株式会社 NTT データ イントラマート All rights Reserved.

※本マニュアルに記載されている社名および商品名は、一般に各社の商標および登録商標です。